

5号(口)記入上の注意

事業者・兼業者要件(1・2)

捨印

様式第5号-口-

記入しない。
(認定担当者が記入します。)

押印下さい。(記載の誤りを訂正する際の訂正印を省略するため。)

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書(口)

福井市長あて

申請者
事業所所在地
名

××××には細分類番号、○○○○には細分類業種名を、

『日本標準産業分類』に基づいて記入する。

複数業種を営む場合は、主たる指定業種(最近1年間で最も売上高等が大きい業種)を左上太枠に記入し、その他の業種を太枠以外に全て記入する。

原材料である原油及び石油製品(以下「原油等」という。)の価格の引上げが著しく困難であること(以下「価格引上げ困難」という。)を認定申請書第2条第5項第5号の規定に基づいて記載する。

(表)

××××	○○○○業		

表には営んでいる事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を全て記載(当該業種は全て指定業種であることが必要)。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種(以下「主たる業種」という。)を左上の太枠に記載。

1 原油等の仕入単価の上昇(注)

$$\frac{E}{e} \times 100 - 100$$

E:原油等の最近1か月間における平均仕入単価

e:Eの期間に対応する前年1か月間の平均仕入単価

20%以上であること

上昇率 □□.□ %

○○○ 円

○○○ 円

2 原油等が売上原価に占める割合(注)

$$\frac{S}{C} \times 100$$

C:申込時点における最新の売上原価

S:Cの売上原価に対応する原油等の仕入価格

20%以上であること

依存率 □□.□ %

, , 円

, , 円

3 製品等価格への転嫁の状況(注)

$$\left(\frac{A}{B} - \frac{a}{b} \right) = P$$

A:申込時点における最近3か月間の原油等の仕入価格

a:Aの期間に対応する前年の3か月間の原油等の仕入価格

B:申込時点における最近3か月間の売上高

b:Bの期間に対応する前年の3か月間の売上高

0 超であること

P = □□.□

□□□,□□□ 円

□□□,□□□ 円

□□□,□□□ 円

□□□,□□□ 円

(注) 複数業種を営む場合は全て指定業種の場合を除き、主たる業種の値を各欄に併記すること。

(留意事項)

本認定とは別に、金融機関及び福井県信用保証協会による金融上の審査があります。

認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は同協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

認定番号 福商振認第 号

年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 信用保証協会への申込期間: 年 月 日から 年 月 日まで

福井市長

最近1か月間及び前年同月間の仕入額等を記入。

1 中小企業者の認定にかかる原油等の仕入単価

	〇〇年〇〇月(今年)	〇〇年〇〇月(前年)
() 原油等の最近1か月間の仕入額	, , 円	, , 円
() 原油等の最近1か月間の仕入数量	□, □□□	□, □□□
原油等の最近1か月間の平均仕入単価(/)	(E) 〇〇〇円	(e) 〇〇〇円

申請書1枚目のE欄へ

申請書1枚目のe欄へ

2 中小企業者の認定にかかる原油等の仕入価格

月別の仕入額を記入。

	〇〇年(今年)	〇〇年(前年)
4月	, , 円	, , 円
5月	, , 円	, , 円
6月	, , 円	, , 円
合計	(A) □□, □□□, □□□円	(a) □□, □□□, □□□円

直近月は原則として、申請時点から1か月以内。

申請書1枚目のA欄へ

申請書1枚目のa欄へ

月別の売上高を記入。

3 中小企業者の認定にかかる売上高

	〇〇年(今年)	〇〇年(前年)
4月	, , 円	, , 円
5月	, , 円	, , 円
6月	, , 円	, , 円
合計	(B) □□, □□□, □□□円	(b) □□, □□□, □□□円

上記の表と同期間を記入する。

申請書1枚目のB欄へ

申請書1枚目のb欄へ

年 月 日

上記のとおり相違ありません。

申請者
事業所所在地
氏 名

(留意事項)

認定申請書の表に記載した業種に属する事業を営んでいることが疎明できる書類等(取り扱いしている製品・サービス等を疎明できる書類、許認可証など)の提出が必要。
2、3の表については、同期間の数値を記載すること。